

令和2(2020)年度 目標未達成となった個別施策の改善に向けた取組

施策No.	I-3	担当課	農業振興課	【施設園芸における燃油使用削減量】
個別施策	農業用施設における省エネルギー対策資機材や化石燃料暖房機の代替資材等の導入を推進します。			
主な取組 ◆以下の取組を通して、省エネルギー対策資機材や化石燃料暖房機の代替資材等の導入を推進する。 ①事業募集チラシの配布及び事業説明会を開催 ②適切な資材導入に係る書類精査および完了検査 ③補助金の交付				
目標未達成の要因（課題） ◆ヒートポンプや内張二層カーテンといった、燃油使用削減効果の高い資機材の導入が進まなかった。 ◆予算に対する申請額は大幅に増加したものの、省エネルギーに寄与する資材の導入申請が少なかった。				改善に向けた取組 ◆ハウス施設園芸の生産に向けた、省エネルギー資機材の事業周知を充実させる。 ◆3年に一度、資機材の見直しが行われるため、見直しの際に省エネルギー対策資機材に関する情報提供を行う。

施策No.	I-9※	担当課	保健給食課	【学校給食における地場産物の使用割合】
個別施策	市内の公立小中学校の給食では、地場産物の活用を促進します。			
主な取組 ◆学校給食において、毎月16日を「ひむか地産池消の日」と設定し、地場産物を取り入れた献立を作成。 ◆農政部・関係機関と連携し、地場産物を取り入れた学校給食を提供。				
目標未達成の要因（課題） ◆各学校において、地元の食材を発注していたが、納品時に地元食材が入らず、県外の食材の使用となったことが要因と考える。 ◆限られた給食費の中で、運営を行っていることから、食材の価格動向に左右される。				改善に向けた取組 ◆新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、出荷量の減少等といった影響が出ている地場産物について、消費拡大を図ることを目的とした国や県の緊急対策事業等を市内の小・中学校において実施する。 ◆農政部及び関係団体と連携し、積極的に地場産物の活用を提案していく。

施策No.	I-10-2	担当課	下水道施設課	【乾燥肥料の生産数量(宮崎処理場)】
個別施策	下水道資源(下水污泥・下水処理水・消化ガス)の有効活用を維持します。			
主な取組 ◆乾燥肥料の生産数を増加するためには、販売数を増加させる必要がある。そのため、令和2年度は下記の取組を実施した。 ・ラジオ、新聞(市政だより)及び公用車を活用した広報 ・市民アンケートの実施 ・過去に購入実績のある大口顧客への購入依頼				
目標未達成の要因（課題） ◆乾燥肥料を生産する乾燥施設の点検等に伴う生産停止期間があったこと、購入者(販売数)の減少に伴う在庫数の増加のため生産調整を行ったことにより目標値を下回った。				改善に向けた取組 ◆乾燥肥料の販売数が令和元年度より増加していることから、令和2年度に実施した取組に一定の効果があったと考えられるため、これらの取組を継続する。 ◆自治会でチラシを班回覧し広く宣伝するとともに、市民アンケートの結果を踏まえ、宮崎処理場以外での販売箇所の確保を検討する。 ◆これらの対策を進め、乾燥肥料の販売数を増加させ、生産数の増加に努める。

※は、目標未達成の中で新型コロナウイルス感染症による影響を受けているもの。

令和2(2020)年度 目標未達成となった個別施策の改善に向けた取組

施策No.	I-11※	担当課	拠点都市創造課	【主要バスターミナルにおける路線バス乗降客数】																					
個別施策	交通機関や地域住民と連携し、路線バスの維持・存続やコミュニティバス等の運行など、地域における交通ネットワークの構築にむけて取り組みます。			<table border="1"> <caption>路線バス乗降客数 (千人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>-</td> <td>1,445</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,454</td> <td>1,552</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,459</td> <td>1,626</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,464</td> <td>1,364</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,465</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,469</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値	実績値	基準年度 H28	-	1,445	H30	1,454	1,552	R1	1,459	1,626	R2	1,464	1,364	R3	1,465	-	R4	1,469	-
年度	目標値	実績値																							
基準年度 H28	-	1,445																							
H30	1,454	1,552																							
R1	1,459	1,626																							
R2	1,464	1,364																							
R3	1,465	-																							
R4	1,469	-																							
主な取組																									
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 田野地域、佐土原地域において、本格導入に向けて、試験運行が実施された。 ◆ 住吉地区、生目地区において、地域住民が主体となった団体が設置され、コミュニティ交通の導入に向けた検討が開始された。 																									
目標未達成の要因（課題）				改善に向けた取組																					
◆ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、度重なる緊急事態宣言等により利用者が減少した。		◆ コロナ禍における利用者の減少に対し、待合スペースなどの利用環境や案内表示設置などによる利便性向上を図ることで、利用者の回帰を促していく。																							

施策No.	I-15	担当課	環境保全課	【市域から排出される二酸化炭素(運輸部門)削減率】																					
個別施策	次世代自動車の利用に関する市民・事業者意識の啓発を進め、導入促進を図ります。			<table border="1"> <caption>二酸化炭素削減率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4.9</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>6.5</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>8.1</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>9.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>11.4</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値	実績値	基準年度 H28	0	0	H30	4.9	1.4	R1	6.5	2.4	R2	8.1	3.6	R3	9.7	-	R4	11.4	-
年度	目標値	実績値																							
基準年度 H28	0	0																							
H30	4.9	1.4																							
R1	6.5	2.4																							
R2	8.1	3.6																							
R3	9.7	-																							
R4	11.4	-																							
主な取組																									
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「COOL CHOICE普及啓発事業」において、7月末から12月までの約5か月間、市民や児童・生徒及びその保護者向けに、次世代自動車を含め公共交通機関の利用や自転車利用、宅配の再配達防止など、二酸化炭素などの温室効果ガスの削減について啓発を行った。 ◆ 宮崎市地球温暖化対策地域協議会としてさまざまなイベントに参加し、二酸化炭素などの温室効果ガス削減について啓発を行った。 																									
目標未達成の要因（課題）				改善に向けた取組																					
◆ 運輸部門において二酸化炭素排出量の9割以上を占める「自動車保有者」への意識啓発が課題である。		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自動車から排出される温室効果ガスを削減するため、宮崎市地球温暖化対策地域協議会会員事業者やみやざきエコアクション事業者等への次世代自動車等の利用促進やエコドライブ普及啓発を実施する。 ◆ みやざき水素スマートコミュニティ推進協議会（宮崎市含む）において「燃料電池自動車」（水素でつくった電気で作る電気自動車）やその水素ステーションの導入、普及促進を検討していく。 																							

施策No.	II-20-1	担当課	廃棄物対策課（関連課：環境業務課）	【再生利用率（リサイクル率）】																					
個別施策	エコクリーンプラザみやざきに搬入されたごみを選別・処理し、適正な最終処分を推進します。			<table border="1"> <caption>再生利用率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>15.8</td> <td>15.8</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>15.4</td> <td>14.4</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>15.4</td> <td>15.3</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>15.6</td> <td>15.3</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>15.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>16.0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値	実績値	基準年度 H28	15.8	15.8	H30	15.4	14.4	R1	15.4	15.3	R2	15.6	15.3	R3	15.8	-	R4	16.0	-
年度	目標値	実績値																							
基準年度 H28	15.8	15.8																							
H30	15.4	14.4																							
R1	15.4	15.3																							
R2	15.6	15.3																							
R3	15.8	-																							
R4	16.0	-																							
主な取組																									
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業用大規模建築物所有者への立入指導 67件 ◆ 多量排出事業者研修会 中止（前年度は205事業所が参加） ◆ ごみ分別説明会 12回、環境学習（保育所・幼稚園） 10回 ◆ 生ごみ処理器研修会・現地見学会 3回、家庭教育学級等出前講座 9回 ◆ 地区文化祭での減量啓発活動 なし（文化祭未実施） ◆ 分別大使（1,145名）説明会 6～7月、エコクリーンプラザみやざき見学 未実施 																									
目標未達成の要因（課題）				改善に向けた取組																					
◆ びんや金属類などの資源化量は増加しているが、古紙はパーレス化が進んでいることにより回収量が減少した。		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 子どもへの啓発を発展させるためのノウハウを蓄積しながら、未就学児や小中学生を対象としたごみ減量・分別学習に取り組み、子どもの時期から資源の循環についての意識を高める活動を行う。 ◆ 商業施設やイベントでの啓発活動を取り入れるなどして、自治会未加入世帯への啓発を更に進めて、市民全体でのごみ減量とリサイクル推進の意識向上を図る。 ◆ 事業所に対しては、啓発チラシの配布や立入指導を行うことで産廃の混入を防ぐと共に、ごみ減量の意識向上を図る。 																							

※は、目標未達成の中で新型コロナウイルス感染症による影響を受けているもの。

令和2(2020)年度 目標未達成となった個別施策の改善に向けた取組

施策No.	II-21※	担当課	環境業務課	【ごみ減量アドバイザーの派遣回数(累計)】																					
個別施策	5 R運動の取組の周知に努め、家庭ごみの減量化、資源化を推進します。			<table border="1"> <caption>【ごみ減量アドバイザーの派遣回数(累計)】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>-</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>230</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>450</td> <td>463</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>680</td> <td>502</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>890</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,100</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値	実績値	基準年度 H28	-	208	H30	230	238	R1	450	463	R2	680	502	R3	890	-	R4	1,100	-
年度	目標値	実績値																							
基準年度 H28	-	208																							
H30	230	238																							
R1	450	463																							
R2	680	502																							
R3	890	-																							
R4	1,100	-																							
主な取組 ◆保育所・幼稚園児向け環境学習の実施 6月、9～12月、2月 ◆自治会・老人クラブ・子育て支援センター向けごみ分別説明会の実施 通年 ◆家庭教育学級等での出前講座の実施 通年																									
目標未達成の要因(課題)		改善に向けた取組																							
◆新型コロナウイルス感染症の影響で、4～5月に予定していたごみ分別説明会が中止になった。 ◆新型コロナウイルス感染症対策で地区文化祭やごみ減量啓発イベントが開催されず、出前講座の申込み数も減少するなど、ごみ減量アドバイザーを派遣する機会が例年と比較して大きく減少した。		◆啓発の機会を増やすため、市内で開催される様々なイベントに参加する。 ◆児童と保護者への啓発を図るため、環境学習を実施する保育所・幼稚園数を増やす。 ◆ごみ減量アドバイザーの派遣の機会が増える啓発活動を企画する。 ◆中学生向けの啓発チラシ「宮崎市のごみ減量のキーワード～5 R～」を配布して、児童と保護者への周知を図る。小学生低学年に夏休みに取組んでもらうリーフレット「食品ロス削減にチャレンジ」を配布して、児童と保護者でごみ減量に取組んでもらう。																							

施策No.	II-29	担当課	給排水設備課(関連課:廃棄物対策課)	【生活排水処理率】																					
個別施策	下水道や農業集落排水への接続及び公設浄化槽の設置を推進し、水洗化率の向上を図ります。			<table border="1"> <caption>【生活排水処理率】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>-</td> <td>91.8</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>93.8</td> <td>92.8</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>94.7</td> <td>93.4</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>95.2</td> <td>93.8</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>95.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>96.4</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値	実績値	基準年度 H28	-	91.8	H30	93.8	92.8	R1	94.7	93.4	R2	95.2	93.8	R3	95.9	-	R4	96.4	-
年度	目標値	実績値																							
基準年度 H28	-	91.8																							
H30	93.8	92.8																							
R1	94.7	93.4																							
R2	95.2	93.8																							
R3	95.9	-																							
R4	96.4	-																							
主な取組 ◆新規下水道供用開始地区の家屋所有者へ、下水道接続案内文書を配布・送付(154件) ◆未水洗家屋の戸別訪問(3,431件) ◆広報活動により普及促進を実施:ホームページ(随時掲載) ◆PFI事業者による個別訪問により普及促進を実施 ◆PFI事業者との定例会により進捗管理、諸問題等について協議を実施:年4回																									
目標未達成の要因(課題)		改善に向けた取組																							
◆水洗化の促進を行っているが、高齢世帯や生活困窮により資金が準備できない等の理由により水洗化が進まない。		◆昨年度制定したばかりの水水洗化促進要綱であるため、効果を確認するためにも方法は変えず、これを基に水洗化を促進する家屋を選別し、重点的に訪問する。 ◆新要綱では、供用開始3年目の家屋も重点的に促進訪問する対象となる。																							

施策No.	II-31※	担当課	森林水産課	【植林面積】																					
個別施策	森林の有する多面的機能を発揮するため、森林所有者、事業者、行政などの多様な主体が連携して適切な森林施策に取り組みます。			<table border="1"> <caption>【植林面積】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>-</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>146</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>175</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>204</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>204</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>238</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値	実績値	基準年度 H28	-	123	H30	146	135	R1	175	153	R2	204	130	R3	204	-	R4	238	-
年度	目標値	実績値																							
基準年度 H28	-	123																							
H30	146	135																							
R1	175	153																							
R2	204	130																							
R3	204	-																							
R4	238	-																							
主な取組 ◆コロナ感染症による木材価格低迷による植林対策として、令和2年度の補助率を10%から20%に引き上げたほか、伐採届提出時の森林所有確認の際に、森林所有者に対し植栽や補助金の説明を行った。 ◆適合通知書発送時に補助金の説明書類を同封し、制度の周知に努めた。																									
目標未達成の要因(課題)		改善に向けた取組																							
◆森林所有者の高齢化や後継者不足による長期管理に対する不安に加え、コロナ感染症による木材価格の低迷により植林意欲が低下したため、植栽が進まなかった。 ◆緊急対策として補助率の倍増を行い、植栽件数はほぼ昨年と同数となったが、伐採面積の大きい森林所有者が植栽を控えたため、面積は減少した。		◆県と協力し、コンテナ苗やエリート苗等のPRを推進するほか、高齢化や後継者不足による不安を解消するため、市が森林所有者に代わり森林の管理を行う森林管理制度の推進を図る。																							

※は、目標未達成の中で新型コロナウイルス感染症による影響を受けているもの。

令和2(2020)年度 目標未達成となった個別施策の改善に向けた取組

施策No.	Ⅲ-32※	担当課	森林水産課
個別施策	防風・防潮といった公益的機能を有し、貴重な観光資源でもある海岸松林を守るため、市民・関係団体・行政が協力して海岸松林の保護・育成に取り組みます。		
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"> ◆活動区域内の下草刈り、雑木伐倒 ◆松苗の植栽 ◆幼松周辺の適正施肥 			
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組	
<ul style="list-style-type: none"> ◆活動団体数の減少 ◆活動参加者数の減少 ◆新型コロナウイルスの影響による活動の中止 		<ul style="list-style-type: none"> ◆補助事業の内容を周知し、ボランティア団体の活動を活性化する。 	

年度	目標値	実績値
基準年度 H28	1,000	950
H30	1,000	1,127
R1	1,000	556
R2	1,000	678
R3	1,000	1,000
R4	1,000	1,000

施策No.	Ⅲ-33-2※	担当課	景観課
個別施策	良好な自然環境や景観を形成している緑地の保全並びに樹木の保全を図ります。		
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"> ◆郷土の名木指定申請があった樹木に対し、現地確認し、樹木医の意見、緑の審議会の諮問を踏まえて指定の可否を判断する。 ◆郷土の名木の指定解除申請があったものに対し、現地確認して樹木の状態や指定要件を踏まえ解除をする。 			
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組	
<ul style="list-style-type: none"> ◆台風被害や所有者による管理の難しさから指定解除の申請が多数あり、多くの解除申請があった。 ◆2本の新規登録候補があるが、登録の判断を行う緑の審議会が令和3年度上半期に開催延期となり、新規の登録が出来なかった。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆平成30年度の現況調査結果を踏まえて緑の審議会において郷土の名木のあり方検討を行う。（令和2年度に検討を予定していたが、委員を集めての会議が実施できず延期となった。） ◆名木の所有者に対し、郷土の名木等緊急保全事業補助金の制度を周知し、緊急的な保全が必要な名木に関しては所有者と相談し対応について検討する。 ◆所有者に対し年1回送付する現況調査票の回答項目を細分化することで、名木の状態や管理に関する問題点を洗い出す。これらの問題に個別に対応することで、今後の登録解除件数の減少につなげる。 	

年度	目標値	実績値
基準年度 H28	166	165
H30	154	166
R1	154	167
R2	146	168
R3	169	169
R4	170	170

施策No.	Ⅲ-34	担当課	農政企画課
個別施策	農業委員会やJAなどと連携し、市民農園制度の適切な運用に努めます。		
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"> ◆市民農園制度の概要について、市のHPに掲載し周知を図る。 ◆市民農園の利用希望者から相談があった場合、関係機関との調整を行う。 ◆市民農園開設の相談があった場合、関係機関との調整および指導を行う。 			
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組	
<ul style="list-style-type: none"> ◆地権者に別の土地利用(農地転用や自作等)の意向があり、閉園する市民農園(高岡ふれあい農園：53区画、田野・八重福農園：40区画)が生じた。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆新たな市民農園の開設を推進する。 ◆随時、市民農園の新規開設相談を受けており、令和3年度に、新たに1農園(住吉つなぎ農園：54区画)が開設される予定である。 	

年度	目標値	実績値
基準年度 H28	406	406
H30	406	417
R1	406	457
R2	406	364
R3	406	406
R4	406	406

※は、目標未達成の中で新型コロナウイルス感染症による影響を受けているもの。

令和2(2020)年度 目標未達成となった個別施策の改善に向けた取組

施策No.	Ⅲ-36	担当課	農業委員会事務局																						
個別施策	遊休農地の解消と発生の未然防止に努めます。			【遊休農地率】 ※減少目標 (％) <table border="1"> <caption>【遊休農地率】実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値 (%)</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>-</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1.9</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1.6</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1.0</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1.0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値 (%)	実績値 (%)	基準年度 H28	-	2.6	H30	1.9	2.3	R1	1.6	2.7	R2	1.0	3.1	R3	1.0	-	R4	1.0	-
年度	目標値 (%)	実績値 (%)																							
基準年度 H28	-	2.6																							
H30	1.9	2.3																							
R1	1.6	2.7																							
R2	1.0	3.1																							
R3	1.0	-																							
R4	1.0	-																							
主な取組 ◆関係機関・団体と連携して農地利用状況調査を実施し、遊休農地の現状を把握。(遊休農地予備軍の早期発見) ◆遊休農地所有者に対し、「利用意向調査」を実施し、農地の適正利用を推進。 ◆農地所有者が農地の売買や貸借を希望する場合には、地区担当の農地利用最適化推進委員と連携し、新たな担い手を探すなど、農地への再生利用を支援。 ※上記の取り組み等により解消された遊休農地 23.1ha																									
目標未達成の要因(課題) ◆令和2年度の遊休農地の解消面積は23.1haであったが、新たに発生する遊休農地面積の抑制が困難で目標値を下回った。 ◆昨今の土地利用型作物から集約型作物への転換、水稲価格等の低迷、耕作者の高齢化、有害鳥獣被害の増大等の問題が農地の遊休化に繋がっている。		改善に向けた取組 ◆課題について国・県、農政部局等への対策を要望するとともに、関連機関と連携し、各地域において集落座談会等の話し合い活動を推進することで遊休農地発生の未然防止に努める。																							

施策No.	Ⅲ-37	担当課	環境保全課																						
個別施策	ホタルが生息する地域をモデル地区及び保存地区とし、豊かな水辺環境づくりを支援します。			【ホタル保護河川総延長】 (m) <table border="1"> <caption>【ホタル保護河川総延長】実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値 (m)</th> <th>実績値 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>-</td> <td>5,770</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5,770</td> <td>4,545</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5,770</td> <td>5,255</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5,770</td> <td>5,255</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>5,770</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>5,770</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値 (m)	実績値 (m)	基準年度 H28	-	5,770	H30	5,770	4,545	R1	5,770	5,255	R2	5,770	5,255	R3	5,770	-	R4	5,770	-
年度	目標値 (m)	実績値 (m)																							
基準年度 H28	-	5,770																							
H30	5,770	4,545																							
R1	5,770	5,255																							
R2	5,770	5,255																							
R3	5,770	-																							
R4	5,770	-																							
主な取組 ◆ホタル生息調査(4月～6月) ◆ホタル保存会総会(8月) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催中止とし、書面決議とした。 ◆ホタル展示室運営会議(12月)の実施																									
目標未達成の要因(課題) ◆ホタルの保護河川総延長の距離が目標値を下回った要因は、団体数の増加がなかったため。 ◆会員の高齢化等の理由により、休止中であったホタルの里づくり指定団体が1団体廃止となった。		改善に向けた取組 ◆市のHP、広報誌による広報やホタルの保全活動を行っている団体があった場合は、積極的に事業の説明を行うことによりホタルの里づくり指定団体数の増加を図る。また、地域事務所や地域センター、地域自治区事務所連絡会議へ活動団体の情報提供を依頼する。																							

施策No.	Ⅲ-39	担当課	環境保全課																						
個別施策	国や県と一体となって、重要な野生動植物とその生息・生育地の保護を図ります。			【野生動植物の重要生息地】 (箇所) <table border="1"> <caption>【野生動植物の重要生息地】実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値 (箇所)</th> <th>実績値 (箇所)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>3</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値 (箇所)	実績値 (箇所)	基準年度 H28	-	2	H30	3	2	R1	3	2	R2	3	2	R3	3	-	R4	3	-
年度	目標値 (箇所)	実績値 (箇所)																							
基準年度 H28	-	2																							
H30	3	2																							
R1	3	2																							
R2	3	2																							
R3	3	-																							
R4	3	-																							
主な取組 ◆宮崎県自然環境課へ前年度同様に「大淀川水辺の楽校及び里山の楽校一帯」を重要生息地指定候補地として推薦した。 ◆県や市の担当部署からの開発行為に対する意見照会に随時対応した。																									
目標未達成の要因(課題) ◆重要生息地の指定については、県では年に1箇所の指定を目標としており、各自治体から推薦のあった候補地の中から、県自然環境課で優先度が高いと考える候補地を審議会に諮ることとしているが、今回宮崎市の推薦した土地は他候補地と比べ希少動植物の生息も少なく、優先度が低いため候補から除外された。		改善に向けた取組 ◆「大淀川水辺の楽校及び里山の楽校一帯」については、優先度は低いが、要件を満たしていないわけではない。 ◆環境情報協議会にて、蓮ヶ池史跡公園に希少な藻が生息しており、重要生息地足りうるとの意見あり。候補地として検討する。																							

※は、目標未達成の中で新型コロナウイルス感染症による影響を受けているもの。

令和2(2020)年度 目標未達成となった個別施策の改善に向けた取組

施策No.	Ⅲ-41※	担当課	環境保全課（関連課：生涯学習課）	【子ども自然体験活動参加者数】																					
個別施策	子どもたちの「生きる力」を育むため、気軽に参加できる自然体験や自然レクリエーションの場を設けます。			<p>【子ども自然体験活動参加者数】</p> <p>□ 目標値 ■ 実績値</p> <p>(人)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>基準年度 H28</td><td>1,130</td><td>1,085</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,130</td><td>824</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,130</td><td>1,146</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,130</td><td>374</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,130</td><td>-</td></tr> <tr><td>R4</td><td>1,130</td><td>-</td></tr> </table>	年度	目標値	実績値	基準年度 H28	1,130	1,085	H30	1,130	824	R1	1,130	1,146	R2	1,130	374	R3	1,130	-	R4	1,130	-
年度	目標値	実績値																							
基準年度 H28	1,130	1,085																							
H30	1,130	824																							
R1	1,130	1,146																							
R2	1,130	374																							
R3	1,130	-																							
R4	1,130	-																							
<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆こども自然体験教室を実施（45人参加）。 実施内容：自分だけの図鑑を作ろう！平和台公園探検 ◆環境学習パートナー派遣事業を実施（72人）。 ◆ふるさとの川をみつめよう（出前講座）（194人） ◆大淀川環境保全クラブ（25人） ◆親と子のふれあい事業（中止）、わくわくドキドキ野外体験（29人）、宮崎の自然と遊ぼう（27人）を実施。 																									
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組																							
◆新型コロナウイルス感染症拡大防止や天候不良のため、講座やイベントを中止にしたことが原因で、目標値を達成できなかった。		◆多くの子ども達に参加してもらえるような講座やメニューを増やすため、講師の確保等に注力する。 ◆「わくわくドキドキ野外体験」、「第1回宮崎の自然と遊ぼう」について、子ども達がより興味を持つような内容を検討するとともに、参加しやすい日程に設定するなど見直す。																							

施策No.	Ⅳ-43※	担当課	景観課	【花と緑の推進事業参加者数】																					
個別施策	市民・事業者等の花のまちづくりに対する意識と知識の向上を図るための取組を進めます。			<p>【花と緑の推進事業参加者数】</p> <p>□ 目標値 ■ 実績値</p> <p>(人)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>基準年度 H28</td><td>1,280</td><td>1,260</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,280</td><td>1,270</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,280</td><td>2,562</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,290</td><td>313</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,300</td><td>-</td></tr> <tr><td>R4</td><td>1,310</td><td>-</td></tr> </table>	年度	目標値	実績値	基準年度 H28	1,280	1,260	H30	1,280	1,270	R1	1,280	2,562	R2	1,290	313	R3	1,300	-	R4	1,310	-
年度	目標値	実績値																							
基準年度 H28	1,280	1,260																							
H30	1,280	1,270																							
R1	1,280	2,562																							
R2	1,290	313																							
R3	1,300	-																							
R4	1,310	-																							
<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆フラワーポットづくり講座 景観課主催で毎月実施。5回が中止となり、8回実施。 ◆花育講座 毎年8月に1回実施。景観課及び企業（宮崎空港ビル株式会社）でブーゲンビリアの盆栽教室を実施。 ◆出前講座 生涯学習課の出前講座として申し込みのあった団体が「生き生きわくわく花講座」を実施。 																									
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組																							
◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、講座やイベントが中止となったり、参加者人数が減少した。		◆新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、密にならないよう各種講座・イベントを実施し、参加者数を確保する。																							

施策No.	Ⅳ-45※	担当課	観光戦略課（関連課：景観課）	【日南海岸沿道修景保全活動回数】																					
個別施策	多様な主体と連携し、日南海岸沿道を美しく保ちます。			<p>【日南海岸沿道修景保全活動回数】</p> <p>□ 目標値 ■ 実績値</p> <p>(回)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>基準年度 H28</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30</td><td>5</td><td>3</td></tr> <tr><td>R1</td><td>5</td><td>3</td></tr> <tr><td>R2</td><td>5</td><td>1</td></tr> <tr><td>R3</td><td>5</td><td>-</td></tr> <tr><td>R4</td><td>5</td><td>-</td></tr> </table>	年度	目標値	実績値	基準年度 H28	5	5	H30	5	3	R1	5	3	R2	5	1	R3	5	-	R4	5	-
年度	目標値	実績値																							
基準年度 H28	5	5																							
H30	5	3																							
R1	5	3																							
R2	5	1																							
R3	5	-																							
R4	5	-																							
<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆コバノセンナを育てる会や峠の桜を守る会（除草作業や植栽作業の手伝い）（実施なし） ◆シーニックバイウェイ推進会議（会議への出席）（実施なし） ◆青島まるごとフラワーフェスタ（令和3年3月20日） 																									
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組																							
◆例年開催しているコバノセンナを育てる会、峠の桜を守る会、シーニックバイウェイ推進会議について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。		◆次年度以降のコバノセンナを育てる会、峠の桜を守る会、シーニックバイウェイ推進会議については、事務局（国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所、各会）が今後の社会情勢を踏まえた上で、開催の可否を検討すると思われる。 ◆会が開催された場合は、本市も積極的に参加することとする。																							

※は、目標未達成の中で新型コロナウイルス感染症による影響を受けているもの。

令和2(2020)年度 目標未達成となった個別施策の改善に向けた取組

施策No.	IV-47	担当課	市街地整備課（関連課：区画整理課、土木課）	【道路改良事業による植樹帯・植樹樹整備路線延長】																					
個別施策	維持管理に配慮した効果的な緑化を推進するなど、周辺環境に配慮した街路整備を進めます。			<table border="1"> <caption>【道路改良事業による植樹帯・植樹樹整備路線延長】実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (km)</th> <th>目標値 (km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>72.21</td> <td>73.48</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>72.91</td> <td>73.48</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>73.37</td> <td>73.48</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>73.75</td> <td>74.17</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>74.17</td> <td>74.17</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>74.17</td> <td>74.17</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (km)	目標値 (km)	基準年度 H28	72.21	73.48	H30	72.91	73.48	R1	73.37	73.48	R2	73.75	74.17	R3	74.17	74.17	R4	74.17	74.17
年度	実績値 (km)	目標値 (km)																							
基準年度 H28	72.21	73.48																							
H30	72.91	73.48																							
R1	73.37	73.48																							
R2	73.75	74.17																							
R3	74.17	74.17																							
R4	74.17	74.17																							
主な取組 ◆道路の景観の向上及び沿道の生活環境の確保のため、都市計画道路の整備に合わせて植樹帯または植樹樹の整備を行う。 ◆令和2年度 宮崎駅東通線(東部第二) 植樹完了 L=0.38km																									
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組																							
◆宮崎駅東通線(東部第二)の植樹をL=0.69km予定していたが、予算内示により事業費が減額となり、植樹完了延長がL=0.38kmとなった。		◆令和3年度に未完了部を施工予定。																							

施策No.	IV-50	担当課	環境保全課	【大気環境基準達成率】																					
個別施策	大気汚染防止法、悪臭防止法や宮崎市公害防止条例など、それぞれの基準を超過しないよう未然防止に努めます。			<table border="1"> <caption>【大気環境基準達成率】実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>88.2</td> <td>91.2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>88.2</td> <td>91.2</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>88.2</td> <td>91.2</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>88.2</td> <td>91.2</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>91.2</td> <td>91.2</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>91.2</td> <td>91.2</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	基準年度 H28	88.2	91.2	H30	88.2	91.2	R1	88.2	91.2	R2	88.2	91.2	R3	91.2	91.2	R4	91.2	91.2
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																							
基準年度 H28	88.2	91.2																							
H30	88.2	91.2																							
R1	88.2	91.2																							
R2	88.2	91.2																							
R3	91.2	91.2																							
R4	91.2	91.2																							
主な取組 ◆大気汚染防止対策事業 ・全ての測定機器において、機器の故障などによる誤作動やデータの誤差等無いよう保守管理を行った。 ◆臭気測定 ・臭気測定を7月及び3月に実施。 ◆届出審査受理 ・届出の審査及び受理を適切に実施。 ◆立入検査 ばい煙発生施設：15事業場 一般粉じん発生施設：2事業場																									
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組																							
◆光化学オキシダントについては、生目小測定局、祇園測定局及び佐土原測定局で短期的評価が未達成となった。 ◆微小粒子状物質（PM2.5）の長期的評価の短期基準について大宮小自動車排出ガス測定局で環境基準を超過した。		◆自動車や工場などから排出される窒素酸化物や炭化水素の低減が重要となることから、事業所の監視を行うとともに、関係課等と連携し、公的機関や民間企業を問わずノーマイカーデーの普及を促進する。																							

施策No.	V-59※	担当課	生涯学習課	【大淀川学習館の利用者数】																					
個別施策	大淀川学習館を適切に管理運営し、環境学習企画展や各種講座を実施します。			<table border="1"> <caption>【大淀川学習館の利用者数】実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人)</th> <th>目標値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>183,485</td> <td>185,000</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>185,000</td> <td>195,241</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>177,860</td> <td>185,000</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>52,759</td> <td>185,000</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>185,000</td> <td>185,000</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>185,000</td> <td>185,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (人)	目標値 (人)	基準年度 H28	183,485	185,000	H30	185,000	195,241	R1	177,860	185,000	R2	52,759	185,000	R3	185,000	185,000	R4	185,000	185,000
年度	実績値 (人)	目標値 (人)																							
基準年度 H28	183,485	185,000																							
H30	185,000	195,241																							
R1	177,860	185,000																							
R2	52,759	185,000																							
R3	185,000	185,000																							
R4	185,000	185,000																							
主な取組 ◆大淀川学習館の利用者数の維持。 ◆教室事業や各種事業の実施。 教室事業（環境教育／飼育・観察教室／ものづくり教室） 企画展の開催（主な企画展） 【カブトムシ・クワガタムシ生態展示・標本展示（8月中）】 【春一番！ひな山展（3月中）】																									
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組																							
◆新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館や事業の中止に至ったことによるもの。		◆新型コロナウイルスの影響がいつ起きるか分からない状況の中、昨年度は事業やイベントの中止が続いたが、来年度は感染症の予防・対策を継続しながら、事業実施への準備をするとともに、来館者に対するサービス向上の取り組みを検討するなど、事業以外のことも充実させる。																							

※は、目標未達成の中で新型コロナウイルス感染症による影響を受けているもの。

令和2(2020)年度 目標未達成となった個別施策の改善に向けた取組

施策No.	V-62※	担当課	環境業務課（関連課：地域コミュニティ課）	【「環境美化の日」と「市民一斉清掃」への参加自治会の平均割合】
個別施策	市民参加により、日頃清掃の行き届かない公共の場所などの清掃を実施し、地域環境の美化を推進します。			
主な取組				
<p>【環境業務課】</p> <p>◆「環境美化の日」（一斉清掃）、「市民一斉清掃」を実施する。</p> <p>【地域コミュニティ課】</p> <p>◆自治会と協力して「環境美化の日」と「市民一斉清掃」を実施し、環境美化活動に対する市民の意識向上を図るとともに、快適な生活環境の確保を図る。</p>				
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組		
<p>◆令和2年6月実施予定であった「環境美化の日」については、新型コロナウイルス感染症拡大により、中止となったことで参加自治会は0となった。</p> <p>◆「市民一斉清掃」は新型コロナウイルス感染症は沈静化していた時期ではあったが、拡大を考慮した自治会が参加を躊躇したことによると考えられる。</p>		<p>◆令和3年度においては、「環境美化の日」を6月に実施予定であり、新型コロナウイルス感染症の再拡大に留意しながら、実施の可否を検討する。</p> <p>◆「市民一斉清掃」については、主催者である宮崎市自治会連合会の意向を確認しながら、対応をすすめていき、市民参加を通じて地域環境の美化を推進する。</p>		

施策No.	V-65※	担当課	文化・市民活動課	【市民活動支援補助金申請団体のうち環境活動を行う団体数】
個別施策	環境改善や環境保全に取り組む市民・市民活動団体の活動に対し、市との協働も含め支援します。			
主な取組				
<p>◆環境改善や環境保全に取り組む市民活動団体を、財政的に支援する。</p> <p>※市民活動補助事業概要（環境改善等が考えられるメニューのみ抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 始業期コース：設立3年未満の団体の自立を促進するため、上限10万円、1回のみ ・ 成長期(単独型)コース：設立から1年以上の団体、対象経費の80%上限50万円、3回まで ・ 成長期(協働型Ⅰ・Ⅱ)コース：設立から1年以上の団体で、市または地域まちづくり推進委員会との協働事業団体対象経費の100%上限50万円、3回まで 				
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組		
<p>◆環境関連の市民活動団体への周知不足は一つの原因になりうる。</p> <p>◆令和2年度は、補助制度への申請件数が減少したことから、市民活動団体が、コロナ禍において活動すること自体に慎重になっていることもうかがえる。</p>		<p>◆令和3年度の補助制度については、環境関連の市民活動団体を含め、市民活動センターに登録のある市民活動団体や特定非営利活動法人に対して、メールやHPにて広く周知した。</p> <p>◆全庁の補佐級職員を対象に、協働研修を実施し、各課と市民活動団体が協働で実施する事業に対する成長期（協働型Ⅰ）コースについて周知した（令和2年10月）。</p>		

施策No.	V-66※	担当課	景観課	【「花いっぱい推進事業参加団体数】
個別施策	地域における自主的な花のまちづくりを推進するために、市民団体等の支援・育成を行います。			
主な取組				
◆年に2回、花いっぱい推進事業登録団体に花の苗を配布する。				
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組		
<p>◆花いっぱい推進事業の参加団体が高齢化により解散（休止）し、団体数が減少した。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、植栽を休止した団体もあった。</p>		<p>◆花のまちづくり推進員や協議会を通して、新たな植栽地や団体の増加を図るとともに、各種推進イベントを通して制度の周知を図る。</p>		

※は、目標未達成の中で新型コロナウイルス感染症による影響を受けているもの。

令和2(2020)年度 目標未達成となった個別施策の改善に向けた取組

施策No.	V-67-1	担当課	農業振興課	<p>【環境保全型農業の取組者数】</p> <table border="1"> <caption>【環境保全型農業の取組者数】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準年度 H28</td> <td>79</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>79</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>79</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>79</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>79</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>79</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値	実績値	基準年度 H28	79	79	H30	79	61	R1	79	58	R2	79	58	R3	79	79	R4	79	79
年度	目標値	実績値																							
基準年度 H28	79	79																							
H30	79	61																							
R1	79	58																							
R2	79	58																							
R3	79	79																							
R4	79	79																							
個別施策	環境保全型農業等の取組を支援し、環境への負担軽減、保全効果の高い営農活動を推進します。																								
<p>主な取組</p> <p>◆以下の取組を通して、環境への負担軽減・保全効果の高い営農活動を支援する。</p> <p>①取組農業者への助言・指導 ②研修会等の開催 ③JA等の関係機関との密な情報共有</p>																									
目標未達成の要因（課題）		改善に向けた取組																							
<p>◆環境に配慮した減農薬、減化学肥料栽培への意識は高まってきているものの、平成30年度より国事業の要件に国際水準GAPへの取組が加わったことで事業の採択要件をクリアできる農業者が減ったため。</p>		<p>◆環境に配慮した営農活動を行う農業者が増えているため、今後も関係機関と連携しながら各種研修会の開催やチラシの配付など、啓発活動を実施し、本事業を実施する農業者の育成に努めるとともに、事業要件に加わった国際水準GAPへの取り組みを推進することで事業対象となる農業者の増加を図る。</p>																							

※は、目標未達成の中で新型コロナウイルス感染症による影響を受けているもの。